

財政運営について



小野寺 尚武 議員

**質問**…中期財政計画も5年間の半ばに差しかかり予定通り進んでいるか伺います。

**答弁**…毎年度実施している進行管理も、おおむね良好であり、財政運営は予定通り進んでいると考えます。今後は引き続き市民のニーズの変化に柔軟に対応し、収支のバランスの取れた健全な運営を継承するため本計画を推進していきます。

**質問**…プラスの効果とマイナスの点を伺います。

**答弁**…プラスの効果は、予算編成から執行を通して、職員の財政への関心の高まり、費用対効果・コスト意識の醸成等であり、30年度予算編成では多くの部署で経費を削減し、また財源の重点かつ効果的配分により投資的事業が計画的にできました。また、マイナス面は一部事業の実

施年度の見送りや縮小の予算措置となったところです。

**質問**…今後の取り組み、考え、方策の具体的な効果について伺います。

**答弁**…行財政計画推進で諸施策の着実な実現と持続可能な運営の確立のため予算編成に活用し、計画の見直しを検討しても効果は、市民サービスの維持、向上の実現と考えます。

一般質問



千保 一夫 議員

市長の行政運営の基本姿勢について

**質問**…市立美術館建設について、期待する市民が多い。平成22年2月、中心市街地活性化事業の中で、45%の交付金の見通しが立ち、残りを合併特例債で財源確保をすれば、市負担は10年間でわずか1億数千円程度を負担すれば、念願の美術館ができる千載一遇のチャンスに恵まれた。ところが3月市長選、4月には津久井市長に事務引継ぎを

したのに7月には美術館建設を白紙撤回してしまった。美術館整備による地方の文化芸術振興策は正に地方創生の目玉として、人口減少対策、移住・定住人口や交流人口増加への貢献が期待され、国の成長戦略にも叶っている。津久井市政3期目に財源確保の見通しを立て、美術館建設とアートによるまちづくりで大きな成果を期待し、伺います。

**答弁**…本市は多くの美術品を収蔵している。今後これらの美術品を適切な環境の下で一元的に保管する必要があると認識している。施設の整備・運営には多額の費用、人材、保管、展示に適した場所が必要になる。財源の確保を初め、解決すべき多くの課題があるので、これらを総合的に研究、検討して参りたい。